

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学童クラブそよ風3		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 9日		～ 2026年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動が多岐にわたる内容で、児童が楽しく過ごせる場の提供に力を入れている。	内部だけではなく、外部で開かれているイベントに参加して地域の児童や大人との交流も行っている。	今後も活動内容が偏らないように職員間での情報共有や情報収集を行う。
2	清潔感を保ち、児童が心身ともに健全に過ごせるよう努めている。	毎日、職員の皆さんが掃除をしてくれているので、清潔感がある。	清潔である事が、心身の健康に繋がるという事を理解してもらう為に児童にも掃除を行ってもらう時もある。
3	生活空間が児童に分かりやすく構造化された環境になっている。障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	おもちゃ箱やロッカーの配置を分かりやすくし、外出先の写真の掲示やイラストカードを用いた視覚支援を行っている。	イラストカードで視覚支援を行いたい、情報量が多いと目に入りにくい、掲示は適度に行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているのか、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるのかが分かりにくいというご意見もある。	活動プログラムとして外出が多いが、慣れ親しんだ場所に行く事が多い。それは児童の安心感に繋がるが、時には初めての場所に行く事も大切だと考える。	地域の大人との関りは定期的に盲導犬パピーや年に1度、獅子舞に来て頂く時があるが、地域児童との関りが少ないので、保護者の方に伝わりにくい。積極的に地域児童とも関わるイベントにも参加していきたい。
2	保護者同士の交流の機会、きょうだい同士の交流の機会が限られている。	日々の活動及び、参加される皆様のスケジュール調整、開催日程、開催内容計画、施設の広さなど課題は多いが、交流会の機会を検討する。	クリスマス会を行った際、児童が喜んでいた、交流会の機会を検討する。
3	児童や家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、児童や保護者に対してそのような場がある事があまり周知されていない。	隣接する相談支援室もそのような場であるという事をパート職員も知らない場合がある。説明は行っているが、相談業務に関わる事がパート職員だと無いに等しい為、実感がない事が要因と考えられる。	送迎時に保護者の皆様から職員が相談を聞き、対応する時がある。隣接する相談支援室もそのような場であるという事を保護者の皆様や職員間でも共有する。